



モデル事業

2022年12月16日（金）

こどもの政策決定過程におけるこどもの意見反映プロセスの在り方に関する調査研究 本調査研究におけるモデル事業について〈全体像〉

目的：以下の2つの観点から、国の政策へのこども・若者の意見反映に関する仕組みづくりに活かす。

- ①様々な手法で行うことにより、意見聴取の手法等に関する課題を抽出する。
- ②「どのような仕組み／環境があれば、国の政策に対して意見が言いやすいか」をテーマとすることにより、国の政策への意見反映に関して、モデル事業に参加するこども・若者から意見を聴く。

広く公募し、こども・若者から意見を聴く

対面

小学4年～概ね20代

オンライン

小学4年～概ね20代

チャット

中学1年～概ね20代

Webアンケート

小学4年～概ね20代

※全てのこども・若者を対象に、内閣官房HPにて広く公募。

※様々なルートで周知し、様々な状況にあるこども・若者の参加を呼びかける予定。

※上記学年は、こどもにとって分かりやすいよう表示するものであり、通学しているかどうかは問わない。

※別途実施する内閣府ユース政策モニターからの意見聴取の内容も共有。

個別に出向いて こども・若者から意見を聴く

- ・不登校のこども
- ・児童養護施設で生活するこども
- ・児童相談所一時保護所で生活するこども
- ・困難を抱える若者

※意見聴取の方法：対面又はオンライン

※関係省庁や関係有識者等の協力を得て実施。

有識者等からのヒアリング

○時間的・技術的制約から、本調査研究においては関係者からのヒアリング等を実施。

※乳幼児について、「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」に関する有識者懇談会における議論等を共有。

※医療的ケア児等について、関係有識者等からのヒアリング等を実施。

モデル事業の前提

- 意見表明だけでなく、意見形成や意見反映についても考慮が必要。
- 4つの手法（対面、オンライン、チャット、Webアンケート）とし、各手法の特性を考慮。

対面

相手の表情が見える、
場を共有することができる

オンライン

参加者が地理的制約
を受けにくい、移動が
困難な事情があっても
参加しやすい

チャット

子ども・若者にとって日常
的なツールであり、顔が見
えないことで、気軽な意見
表明が可能。24時間いつ
でも参加できる

Webアンケート

回答者の匿名性を確保、
多くの子ども・若者の意見
を聴くことが可能、参加者
の属性のバラつきを回避し
やすい

- 目的は、子ども・若者がどのような環境や手法があれば意見を言いやすいのかを明らかにすること。
 - ✓ 意見を言う機会はある（と感じている）のか、どんな機会なのか、それは使い勝手が良いのか、どうい
う機会・方法があったらいいのかなどを聴く。
 - ✓ 本調査研究の結果を踏まえ、子ども家庭庁において、子ども・若者の参加・参画のための仕組みを設
ける。当該仕組みは、子ども家庭庁や関係府省が行う子ども政策が対象となる。

本調査の目的

子ども・若者がどのような環境
や手法があれば意見を言い
やすいのかを明らかにする

意見を聴くための仕組みを国
が設ける

国が行う子ども政策全般で、
仕組みを活用

【対面、オンライン、チャット】モデル事業の実施概要

- 対面、オンライン会議、チャットのモデル事業は計6回（各手法2回）実施した。
- ファシリテーション時の留意事項を事務局メンバーおよびファシリテーターの共通ルールとして実施した。

	対面①	対面②	オンライン会議①	オンライン会議②	チャット①	チャット②
実施方法	対面@NTTデータ経営研究所会議室		Microsoft Teams		LINEオープンチャット	
対象者	小学4年生世代～おおむね20代				中学生1年生世代～おおむね20代	
テーマ	自分の意見を伝える方法は、身近にどんなものがあるか。どのような仕組みや環境があったら意見を言いやすいか。					
参加人数	各回30人					
意見交換方法	<5人×6グループ> グループ①：小学生 グループ②：中学生 グループ③：高校生 グループ④：18,19歳 グループ⑤：20代前半 グループ⑥：20代後半	<10人×3グループ> グループ①：小学生+中 学セ グループ②：高校生+ 18,19歳 グループ③：20代前半+ 20代後半	<5人×6グループ> グループ①：小学生 グループ②：中学生 グループ③：高校生 グループ④：18,19歳 グループ⑤：20代前半 グループ⑥：20代後半	<10人×3グループ> グループ①：小学生+中 学セ グループ②：高校生+ 18,19歳 グループ③：20代前半+ 20代後半	<5人×6グループ> グループ①：小学生 グループ②：中学生 グループ③：高校生 グループ④：18,19歳 グループ⑤：20代前半 グループ⑥：20代後半	<10人×3グループ> グループ①：小学生+中学 セ グループ②：高校生+ 18,19歳 グループ③：20代前半+ 20代後半
開催日時	11/13（日） 15時～16時半	11/27（日） 15時～17時	11/17（木） 17時～18時半	11/22（火） 19時～21時	11/15（火） 17時 ～11/21（月） 19時	

ファシリテーション時の留意事項

- ✓ チャイルド・セーフガーディング等のガイドラインを参考とした。（特に、子どもができることを大人が代わりにしないこと）
- ✓ 子ども・若者の意見の否定や誘導的な質問は避け、発言の深掘りをする。
- ✓ 差別的な発言をしない（子どもの意見を政策決定過程に反映させるためのプロジェクトであるということ、ファシリテーターの良い関与が子ども・若者の参加・参画の保障につながるということを理解する）

【対面、オンライン】 事前準備、当日の流れ、具体的な質問例

■ 事前準備

- 参加・参画することも・若者に対し、意見を聴く理由やモデル事業の目的について、事前に説明を行った。
 説明内容： ①子ども・若者の意見を聴く理由、②モデル事業の目的、③子ども家庭庁の役割
 説明方法： 事前資料配布、当日の説明

■ 当日の流れ

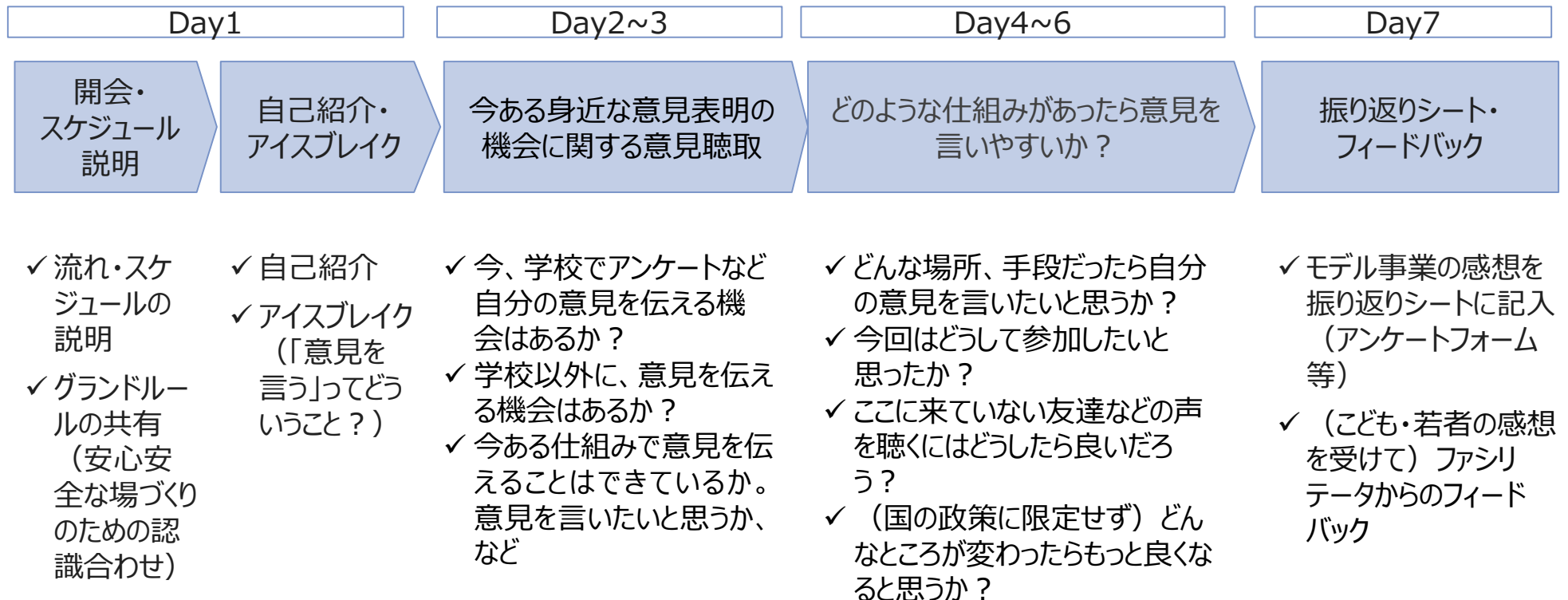
所要時間 90分 括弧内は120分の場合	内容
15分	開会のあいさつ、当日の流れ、グランドルールの共有（安心安全な場づくりのための認識合わせ） アイスブレイク（「意見を言う」ってどういうこと??）
5分（10分）	自己紹介
5分	個人ワーク（意見が言えたとき、言えなかったときはどんな時?）
25（40分）	ディスカッション① 今ある身近な意見表明 <ul style="list-style-type: none"> • 個人ワーク内容の共有 • ディスカッション ※「意見を言う」を多角的に考え、「意見を言う」の例を増やす ➤ 今、学校でアンケートなど自分の意見を伝える機会はあるか？それはどういう手段（アンケート、学活で手を挙げて発言するなど）、どのような頻度、名前が分かるか、生徒から集めた声のフィードバックはあるのか、その結果何かが変わったか。 ➤ 学校以外に、意見を伝える機会はあるか？例えば、児童館の運営、地域のスポーツ活動など ➤ 今ある仕組みで意見を伝えることはできているか。意見を言いたいと思うか。
10	休憩
25（35分）	ディスカッション② どのような仕組みがあったら意見を言いやすいか？ <ul style="list-style-type: none"> ➤ どんな場所、手段だったら自分の意見を言いたいと思うか？ ➤ 今日はどうして参加したいと思ったか？ ➤ ここに来ていない友達などの声を聴くにはどうしたら良いだろう？ ➤ （国の政策に限定せず）どんなところが変わったらもっと良くなると思うか？ など
5	子ども・若者から感想を聴く（数人）、アンケートの記入
—	終了

【SNS】 事前準備、7日間の流れ、具体的な質問例

■ 事前準備

- 参加・参画するこども・若者に対し、意見を聴く理由やモデル事業の目的について、事前に説明を行った。
説明内容： ①こども・若者の意見を聴く理由、②モデル事業の目的、③こども家庭庁の役割
説明方法： 事前資料配布、当日の説明

■ 7日間の流れ（期間中、いつでもコメント可/集中的に議論するコアタイムを毎日1時間設けた）



【参考】参加者リスト（対面）

5人グループ：計26名

グループ	年齢	学年／職業	性別	お住まい
A	10歳	小学4年	女性	東京都
	10歳	小学4年	男性	神奈川県
	12歳	小学6年	女性	神奈川県
	11歳	小学6年	女性	東京都
B	13歳	中学1年	女性	神奈川県
	13歳	中学2年	男性	新潟県
	14歳	中学3年	女性	神奈川県
	14歳	中学3年	女性	東京都
C	16歳	高校1年	男性	長野県
	16歳	高校1年	男性	東京都
	16歳	高校1年	女性	千葉県
	16歳	高校2年	女性	東京都
	17歳	高校2年	女性	兵庫県
D	18歳	学生	女性	埼玉県
	18歳	学生	女性	東京都
	19歳	学生	男性	新潟県
	19歳	学生	男性	東京都
	19歳	学生	女性	埼玉県
E	20代前半	学生	女性	広島県
	20代前半	学生	女性	東京都
	20代前半	学生	男性	東京都
	20代前半	その他	女性	東京都
F	20代後半	社会人	女性	神奈川県
	20代後半	社会人	女性	愛知県
	20代後半	社会人	男性	群馬県
	20代後半	無回答	男性	埼玉県

10人グループ：計22名

グループ	年齢	学年／職業	性別	お住まい
G	10歳	小学4年	男性	埼玉県
	10歳	小学4年	女性	埼玉県
	10歳	小学4年	男性	神奈川県
	12歳	小学6年	女性	千葉県
	12歳	中学1年	女性	東京都
	14歳	中学3年	女性	東京都
	14歳	中学3年	女性	神奈川県
H	18歳	高校3年	女性	徳島県
	18歳	高校3年	女性	東京都
	18歳	学生	女性	東京都
	18歳	学生	男性	東京都
	19歳	学生	男性	島根県
	19歳	学生	男性	兵庫県
I	20代前半	学生	回答しない	千葉県
	20代前半	学生	男性	東京都
	20代前半	学生	女性	東京都
	20代前半	社会人	女性	東京都
	20代前半	社会人	男性	埼玉県
	20代後半	学生	男性	東京都
	20代後半	社会人	男性	東京都
	20代後半	社会人	回答しない	東京都
20代後半	社会人	女性	神奈川県	

【参考】参加者リスト（オンライン）

5人グループ：計23名

グループ	年齢	学年／職業	性別	お住まい
A	10歳	小学4年	女性	大阪府
	11歳	小学6年	男性	茨城県
	12歳	小学6年	女性	兵庫県
	12歳	小学6年	男性	長野県
B	13歳	中学1年	男性	大阪府
	13歳	中学1年	女性	愛媛県
	13歳	中学2年	女性	愛媛県
	14歳	中学2年	男性	新潟県
C	15歳	高校1年	女性	愛媛県
	17歳	高校3年	女性	秋田県
	18歳	高校3年	男性	大阪府
D	18歳	学生	女性	宮城県
	19歳	学生	男性	熊本県
	19歳	学生	女性	長野県
	19歳	学生	女性	大阪府
E	20代前半	学生	男性	愛媛県
	20代前半	学生	女性	広島県
	20代前半	社会人	女性	愛媛県
F	20代後半	社会人	男性	滋賀県
	20代後半	社会人	女性	岐阜県
	20代後半	社会人	男性	栃木県
	20代後半	社会人	男性	東京都
	20代後半	社会人	女性	千葉県

10人グループ：計28名

グループ	年齢	学年／職業	性別	お住まい
G	10歳	小学4年	男性	東京都
	10歳	小学4年	男性	東京都
	10歳	小学4年	女性	奈良県
	10歳	小学4年	女性	東京都
	12歳	小学6年	男性	栃木県
	12歳	小学6年	男性	神奈川県
	12歳	中学1年	女性	東京都
	12歳	中学1年	男性	千葉県
	13歳	中学2年	女性	東京都
	14歳	中学2年	男性	愛知県
H	15歳	高校1年	女性	徳島県
	15歳	高校1年	男性	埼玉県
	16歳	高校1年	女性	千葉県
	16歳	高校2年	女性	大阪府
	18歳	学生	女性	兵庫県
	19歳	高校3年	男性	茨城県
	19歳	学生	男性	沖縄県
	19歳	学生	女性	東京都
I	19歳	学生	回答しない	神奈川県
	20代前半	学生	女性	東京都
	20代前半	学生	女性	神奈川県
	20代前半	学生	男性	愛知県
	20代前半	学生	男性	千葉県
	20代前半	学生	男性	東京都
	20代前半	社会人	男性	東京都
	20代後半	社会人	女性	宮崎県
	20代後半	社会人	女性	大阪府
	20代後半	社会人	女性	福岡県

【参考】参加者リスト（チャット）

5人グループ：計25名

グループ	年齢	学年／職業	性別	お住まい
A	12歳	中学1年	男性	東京都
	13歳	中学1年	女性	滋賀県
	13歳	中学1年	女性	群馬県
	13歳	中学1年	男性	愛知県
	14歳	中学2年	女性	東京都
B	13歳	中学2年	男性	千葉県
	14歳	中学2年	女性	愛知県
	14歳	中学3年	男性	静岡県
	15歳	中学3年	男性	新潟県
	15歳	中学3年	女性	新潟県
C	16歳	高校1年	女性	東京都
	16歳	高校2年	女性	東京都
	18歳	高校3年	女性	鹿児島県
D	18歳	学生	女性	三重県
	19歳	学生	回答しない	沖縄県
	19歳	学生	男性	秋田県
	19歳	学生	女性	千葉県
E	20代前半	学生	女性	神奈川県
	20代前半	学生	男性	長野県
	20代前半	社会人	女性	富山県
	20代前半	社会人	回答しない	滋賀県
F	20代後半	社会人	女性	長野県
	20代後半	社会人	女性	東京都
	20代後半	社会人	男性	熊本県
	20代後半	社会人	回答しない	岐阜県

10人グループ：計28名

グループ	年齢	学年／職業	性別	お住まい
G	12歳	中学1年	女性	千葉県
	13歳	中学1年	男性	東京都
	13歳	中学1年	女性	東京都
	14歳	中学2年	男性	兵庫県
	14歳	中学2年	男性	東京都
	14歳	中学2年	女性	東京都
	14歳	中学3年	女性	愛媛県
	14歳	中学3年	男性	東京都
	15歳	中学3年	女性	愛知県
	15歳	中学3年	男性	兵庫県
H	15歳	高校1年	女性	長野県
	16歳	高校2年	女性	熊本県
	16歳	高校2年	女性	千葉県
	18歳	高校3年	女性	青森県
	18歳	学生	女性	岐阜県
	19歳	学生	男性	埼玉県
	19歳	学生	男性	茨城県
	19歳	学生	女性	神奈川県
	19歳	社会人	女性	徳島県
19歳	社会人	男性	福島県	
I	20代前半	学生	女性	神奈川県
	20代前半	学生	女性	宮城県
	20代前半	学生	男性	東京都
	20代後半	社会人	男性	北海道
	20代後半	社会人	女性	海外
	20代後半	社会人	女性	神奈川県
	20代後半	社会人	男性	兵庫県
	20代後半	社会人	女性	石川県

【参考】 参加者アンケート結果

設問①：本イベントで、あなたは自分の意見を十分に伝えられましたか。

- 各プログラムで「十分に伝えられた」「伝えられた」との回答が最も多かった。
- 各プログラムで「あまり伝えられなかった」との回答も一部いただいた。
- 「全く伝えられなかった」との回答をいただいたのはオンラインのみであった。

設問②：本イベントの時間配分やプログラムの内容についてどう思いましたか。

- 各プログラムで「非常に良かった」「良かった」との回答が最も多かった。
- チャット10人グループ以外のプログラムで「あまり良くなかった」との回答を一部いただいた。
- 各プログラムで「非常に良くなかった」との回答は無かった。

設問③：あなたが参加したグループの人数は、話やすいものでしたか。

- 各プログラムで「ちょうどよかった」との回答が最も多かった。
- 対面では「少なかった」の回答がなく、チャットでは「多かった」の回答は無かった。

設問④：あなたが参加した今回の話し合いは、意見を伝えやすかったですか。

- 各プログラムで「非常に伝えやすかった」「伝えやすかった」との回答が最も多かった。
- 対面5人グループ、チャット10人グループは「伝えにくかった」「非常に伝えにくかった」との回答が無かった。
- その他のプログラムでは「伝えにくかった」「非常に伝えにくかった」との回答を一部いただいた。

設問⑤：制度や政策に対する意見を伝える際にどのような手法であると参加したいと思えますか。

- 対面参加者は「対面」が最も多く、次いで「チャット」、「オンライン」の順に多かった。
- オンライン参加者は5人グループの場合で「対面」、10人グループの場合で「オンライン」が最も多く、どちらの場合も「チャット」が最も少ない。
- チャット参加者は「チャット」が最も多く、5人グループの場合は次いで対面、10人グループの場合は次いで「アンケート」が多い。

【個別に出向いて意見を聴く】モデル事業の実施概要

➤ ヒアリングテーマ：

- ・ふだん、自分の気持ちや考えを伝えることはできているか。自分の気持ちや考えを伝えにくいと感じることはあるか。
- ・子どもや若者がもっと自分の意見を伝えやすくするためには、どんな仕組みやツール、環境があると良いと思うか。

	不登校の子ども	児童養護施設で生活する子ども	児童相談所一時保護所で生活する子ども	困難を抱える若者
実施方法	グループインタビュー (施設職員が進行)	グループインタビュー (子ども家庭庁設立準備室政策参与、 同室職員が進行)	個別ヒアリング (子ども家庭庁設立準備室政策参与 同室アドバイザーが進行)	グループインタビュー (菊池真梨香委員が進行)
対象者／人数	小学生14名 (3グループ) 中高生13名 (3グループ)	高校生3名 (1グループ)、 小学生7名 (2グループ)	幼児2名 (4歳) 女子4名 (小4～中2) 男子2名 (中2～3)	社会的養護を経験した若者、親元から避難した若者 (18～21歳) / 4名
実施場所	関東近郊のフリースクール (文部科学省の推薦施設)	関東近郊の児童養護施設 (厚生労働省の推薦施設)	関東近郊の児童相談所一時保護所	関東近郊
実施日時	11/18 (金) 12:15～15:30	10/23 (日) 10:00～15:00	12/2 (金) 15:30～17:30	9/27 (水) 14:15～17:30

★イベントのお知らせ★

協力者 大募集!!
内閣官房子ども家庭庁設立準備室

君の声を聴かせて

「子どもまんなか社会」を考える
子ども家庭庁設立準備室のスタッフが、
みなさんの声を聴きたくて、会いに行きます!!

2022年11月18日(金)
1時間～1時間半くらい

内容

- ①自己紹介、レクリエーション
- ②みんなで話す：自分の気持ちや考え、言えている?
- ③みんなで話す：子どもや若者が意見を言いやすい仕組みとは?

参加者にはおやつあり!
食べながらOK!

協力者 大募集!!
内閣官房子ども家庭庁設立準備室

君の声を聴かせて

「子どもまんなか社会」を考える
子ども家庭庁設立準備室のスタッフが、
みなさんの声を聴きたくて、会いに行きます!!

2022年12月2日(金)午後
※個別でお話、ひとり20分くらい

内容

- ①あいさつ、ミニゲーム
- ②テーマ(いっしょに考える)：自分の気持ちや考え、言えている?
- ③テーマ(いっしょに考える)：子どもや若者が意見を言いやすい仕組みとは?

※事前の準備は必要ありません!
ふだんの気持ちを聴かせてもらえるとうれしいです。

きみ こえ き
君の声を聴かせて

内閣官房 子ども家庭庁設立準備室

作成・使用した
子ども向け資料
(一例)

【Webアンケート】 モデル事業の実施概要

(ア) 参加者の対象年齢、回答数

- ✓ 対象年齢は小学4年生世代～概ね20代
- ✓ 回答数は2,168

(イ) 実施期間、アンケート実施方法

- ✓ 回答期間：2022年11月16日～30日
- ✓ 募集方法：内閣官房ウェブサイトにて、アンケートのURLを直接掲載し、回答を募った

(ウ) 設問内容

- ✓ 設問数：25問
- ✓ 設問内容：意見反映プロセス構築に向けたあるべき仕組みへの要望
- ✓ 形式：選択式設問が中心

(エ) 留意事項

- ✓ こどもの回答前に、必ず保護者の許諾ページを追加（アンケートに回答することに対する許可であって、こどもが回答するときにはひとりで取り組むように説明）
- ✓ チャイルド・セーフガーディング等のガイドラインを参考とした。

モデル事業の検証方法

以下の9点について手法別に分析するとともに、手法間の比較分析を行う。

